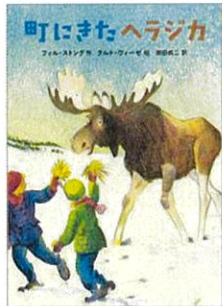


# おはなし トレイン



## 3・4年生



### 『町にきた ヘラジカ』

フィル・ストング/作  
クルト・ヴィーゼ/絵  
瀬田 貞二/訳  
徳間書店

ワイノとイバールが<sup>ゆきやま</sup>雪山から帰ると、<sup>うまごや</sup>馬小屋から「ブ  
オーン」とおかしな鳴き声<sup>なごえ</sup>が聞こえてきました。ふた  
りが中<sup>なか</sup>をのぞくと、<sup>おお</sup>大きなヘラジカが<sup>くさ</sup>草を食べていま  
す。おなかがいっぱいになったヘラジカは、とうとう馬  
小屋<sup>うまごや</sup>でねてしまいました。町<sup>まち</sup>の人たちは<sup>ひと</sup>いったいどう  
するのでしょうか。本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>にあっただきごと<sup>か</sup>をもとに書  
かれた、ゆかいなお話<sup>はなし</sup>です。

## 1・2年生



### 『つきよの アイスホッケー』

ポール・ハーブリッジ/文  
マット・ジェームス/絵  
むらおか みえ/訳  
福音館書店

12月<sup>がつ</sup>に入り、いきもできないほど<sup>はい</sup>きびしいさむさが  
つづきました。まん<sup>げつ</sup>月の夜<sup>よる</sup>、子どもたち<sup>こ</sup>だけで森の  
池<sup>いけ</sup>をめざして出<sup>で</sup>かけます。雪<sup>ゆき</sup>をかき分け、<sup>わ</sup>ふくをぬら  
しながら、たどりついたその先<sup>さき</sup>にまっていたのは、さ  
いこうに楽しいあそび場<sup>ば</sup>でした。さむさをふきとばす  
ほどワクワクする気分<sup>きぶん</sup>があじわえますよ。さあ、いっ  
しょに出<sup>で</sup>かけてみましょう。

## 5・6年生



### 『吹雪の中の列車』

マト・ロヴラック/作  
山本 郁子/訳  
ささめや ゆき/絵  
岩波書店

ヴェリコ・セロの<sup>しょうがっこう</sup>小学校に、子どもたちだけの<sup>どうめい</sup>同盟が  
けっせい<sup>けっせい</sup>されました。同盟<sup>どうめい</sup>の目標<sup>もくひょう</sup>は、自分<sup>じぶん</sup>で考<sup>かんが</sup>えること、  
仲間<sup>なか</sup>と協力<sup>きょうりやく</sup>し合うこと。しかし、ペーロは同盟<sup>どうめい</sup>の議長<sup>ぎぎょう</sup>  
に選ばれたリュバンに<sup>えら</sup>反発<sup>はんぱつ</sup>します。そんな中<sup>なか</sup>、列車<sup>れっしゃ</sup>に  
の<sup>の</sup>乗<sup>ねん</sup>って、念願<sup>ねんがん</sup>の日<sup>ひ</sup>帰<sup>かえ</sup>り旅<sup>りょ</sup>行<sup>こう</sup>へと出<sup>で</sup>かけたかれらは、  
吹雪<sup>ふぶき</sup>にまきこまれてしまいました。この<sup>きき</sup>危機<sup>き</sup>に子<sup>こ</sup>ども  
どうめい<sup>どうめい</sup>は、どう立<sup>た</sup>ち向<sup>む</sup>かっていくのでしょうか？

## 1・2年生



### 『黒ねこの おきやくさま』

ルース・エイズワース/作  
荒 このみ/訳  
山内 ふじ江/絵  
福音館書店

冬のあらしの夜、まずいおじいさんの家に、黒ねこがあらわれます。ねこはとてもやせていて、さむそうでした。おじいさんは家にあるものをすべて食べさせ、だんろのまきもぜんぶ使い、ねこをあたためました。家には何もなくなりましたが、ねこがいるだけで、心も体もあたたかくなるのでした。そしてあくる朝、おじいさんにふしぎなことがおこります。

## 3・4年生



### 『錦鯉を創る』 新潟から世界へ

松沢 陽士/写真と文  
小学館

世界中で愛されている錦鯉が、どのようにして創られているのか知っていますか？ 和田卓さんの家は、ひいひいおじいさんの代から鯉屋をしています。ある時、和田さんは、まだだれも見たことのない錦鯉を創ろうと思いました。新潟の美しい四季の中で、錦鯉が卵からおとなになるまでを記録した写真絵本。あざやかで、美しい錦鯉を創るひみつがみつがっています。

## 5・6年生



### 『起業家 フェリックスは12歳』

アンドリュー・ノリス/著  
千葉 茂樹/訳  
あすなろ書房

フェリックスが「ビジネス」を始めたのは6歳のころ。けれど今までは、どれも失敗に終わっていました。そんなとき、フェリックスのもとへ、ビジネスチャンスがまいこんできます。どうやら今回はこれまでとは少しちがう様子。フェリックスは、仲間とともに新しい会社を始めます。起業と仕事の仕組みを楽しく学べる一冊としてもおすすめです。

## みんなにおすすめ



### 『ほしになった りゅうのきば』

中国民話

君島 久子/再話  
赤羽 末吉/画  
福音館書店

ある日、二ひきのりゅうが、けんかをして天をやぶいてしまいました。石から生まれたサンは、村のために天をつくろう方法をさがしに出かけます。そうしてウリュエー山にいるという、つくろいじょうずなむすめのところへ、何日もかけてたずねていくのですが……。2024年は辰年です。どこかにくめないりゅうがどうしようする、中国の民話です。

「おはなしトレイン」のバックナンバーは、

千代田区立図書館ホームページに掲載しています。